

生活科学科 食物専攻
2年間の学び

科目一覧

教養を身につける

- 文学
- ことばと表現
- くらしと法
- 経済学
- 社会生活とマナー
- 統計学
- 化学
- 情報リテラシー
- 英語A①②
- 健康スポーツA
- スポーツ科学理論
- 文理学

栄養士の専門基礎科目

- 運動生理学
- 生化学
- 生化学実験
- 食品学概論I
- 食品加工学I
- 食品加工学実習I
- 栄養学総論
- 栄養学各論I
- 栄養学各論実習
- 栄養カウンセリング論
- 栄養カウンセリング実習
- 臨床栄養学
- 臨床栄養学実習
- 公衆栄養学
- 食品衛生学I
- 食品衛生学実験
- 公衆衛生学I・II
- 公衆衛生学実習
- 調理学
- 調理学実習I・II・III
- 食生活論
- 食生活論実習

栄養士の専門科目

- 解剖生理学
- 栄養指導論
- 栄養指導実習I・II
- 栄養情報処理
- 病理学
- 給食計画論
- 給食実務論
- 給食運営管理実習(校内)
- 給食運営管理実習(臨地実習)

フード関係の専門科目

- 食品学概論II
- 食品学実験
- 食品学各論
- 食品学各論実験
- 食品の安全性
- 食品加工学II
- 食品加工学実習II
- 栄養学各論II
- 食品衛生学II
- 調理科学実験
- 食品流通論
- 食生活特論
- フードコーディネーター論

教職の専門科目

- 教育原理
- 教職概論
- 教育心理学
- 特別支援教育論
- 教育課程総論
- 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
- 教育の方法及び技術
- 生徒指導
- 教育相談
- 事前・事後指導
- 栄養教育実習
- 教職実践演習
- 学校栄養指導論

医療秘書の専門科目

- 医療秘書概論
- 医療事務総論
- 医療事務各論

1年次 前期

短大生としての教養をしっかりと身につけ、食や栄養の基礎知識や理論を修得する。栄養士として必要な栄養学、食品学、調理学、解剖生理学などを系統的に学びます。



PICK UP 01 栄養学総論

栄養士をめざす第一歩として、栄養とは何か、なぜ人は食べるのかについて理解します。そして、健康の維持・増進に栄養が果たす役割を学びます。



PICK UP 02 調理学実習 I

栄養士の基本となる食材の取り扱いや調理の技術を実践し、できあがった献立を実際に食べることで、多くの栄養素がとれるおいしい調理方法を学びます。



PICK UP 03 食品学実験

実験器具の名称を学び、試薬の調製やピペット操作を学んだ後、実験では食品に含まれるたんぱく質や糖質の種類や量を調べます。

1年次 後期

「計画を立てる」「作る」「指導する」3つのスキルを磨く。栄養士の中心業務である給食管理や栄養指導を理論で学び実践します。



PICK UP 04 栄養指導実習 I

栄養指導の基本的な事項を学習し、実務において栄養の指導および栄養教育ができるように実習します。



PICK UP 05 臨床栄養学

さまざまな疾病や病状を理解し、その治療に必要な栄養管理の基礎知識を学び、病態別の適切な栄養食事療法について講義をおとして修得します。



PICK UP 06 調理学実習 II

1年次前期から2年次前期にかけて、基本の調理から日本料理・中国料理・西洋料理などさまざまな献立を実習します。

2年次 前期

「多くの方への食事提供(校内実習)」や「栄養指導」を体験し、実践力アップを図る。対象者に応じた献立作成、大量調理、衛生管理、栄養指導の一連の流れを修得します。



PICK UP 07 給食運営管理実習(校内)

栄養士実務につながる内容について、大学内のHACCP(より製品の安全を確保する衛生管理の手法)に対応できる給食実習室で大量調理の実習をします。



PICK UP 08 栄養指導実習 II

パワーポイントを使った栄養教育の授業です。健康な身体づくりをめざし、さまざまな病態での食生活を改善するために、分かりやすい指導案作成と練習に取り組みます。



PICK UP 09 臨床栄養学実習

病気の原因や症状を理解し、患者さんの病態別の食事内容について献立が立てられ、栄養管理ができるように実習をおこないます。

2年次 後期

学びの集大成として学外での臨地実習をおこない、2年間の総仕上げをする。専門的な知識と実習・実験で培った技術が統合し、実践力のある栄養士に成長します。



PICK UP 10 食品加工学実習 II

食の専門家として、身近な食材でさまざまな保存技術を利用して、日本の伝統的な加工技術や外国の加工食品についての知識や技術を学修します。



PICK UP 11 栄養学各論実習

季節の行事食や各ライフステージに沿った栄養について実習します。



PICK UP 12 公衆衛生学実習

健康と密接な関係がある環境要因について学びます。水環境では水道水のpH測定や色度・硬度の測定、空気環境では一酸化炭素・二酸化炭素の測定などの実習をおこないます。

めざせる未来・活躍できる仕事

生活科学科
食物専攻

栄養士の資格を
いかしてめざせる進路

- 病院
- 福祉施設
- 食品会社(開発・管理・製造)
- 給食サービス
- 保育所
- 学校給食
- 給食会社(病院・施設などで業務)
- 行政機関など

フード関係の資格を
いかしてめざせる進路

- 食品会社(開発・管理・製造)
- 百貨店
- ホテルなど

進学

徳島文理大学人間生活学部をはじめ
大学学部へ編入学

進学・就職
最新情報



卒業生からの
メッセージ



博愛記念病院 栄養部
玉井 綾さん
生活科学科食物専攻
2020年度卒業

短大で学んだことすべてが
現場で役立っています

患者さんの治療や健康維持に欠かせない食事をサポートする仕事内容に魅力を感じ、病院の栄養部に就職しました。生活科学科は実習が多く実践的に学ぶことに加え、先生方にどんなことも相談できる環境です。私は先生方のサポートのおかげで、2年間で数多くの資格が取得できました。また、就活時には面接対応や履歴書の書き方のアドバイスもいただきました。調理実習で学んだ効率のよい調理の仕方と機械の使用法や調理方法などの知識は、現場でとても役立っています。